

結果の概要

～平成27年3月分～

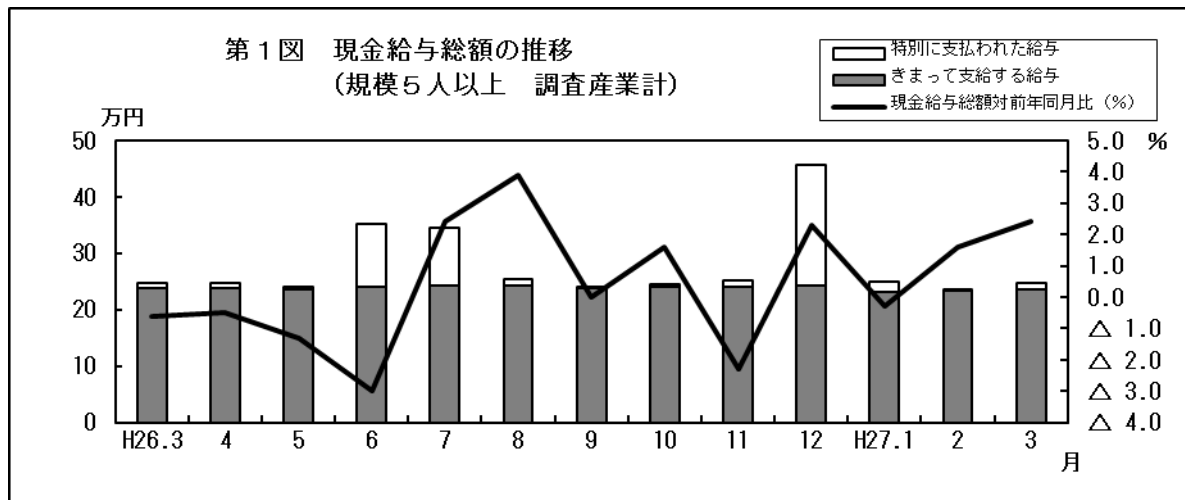
1 賃金の動き

3月分の調査産業計の1人当たりの月間現金給与総額は、前年同月比2.4%増の247,046円（規模30人以上では、2.2%増の265,372円）となった。（第1図、第1・2表）

また、きまって支給する給与（定期給与）は、前年同月比1.5%増の236,010円（規模30人以上では、0.6%増の251,355円）であった。（第1・2表）

きまって支給する給与のうち所定内給与は、前年同月比1.3%増の218,061円（規模30人以上では、0.7%増の231,077円）であった。（第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の現金給与総額は、344,869円（規模30人以上では、357,101円）、パートタイム労働者は、97,954円（規模30人以上では、109,269円）であった。（表20・21表）



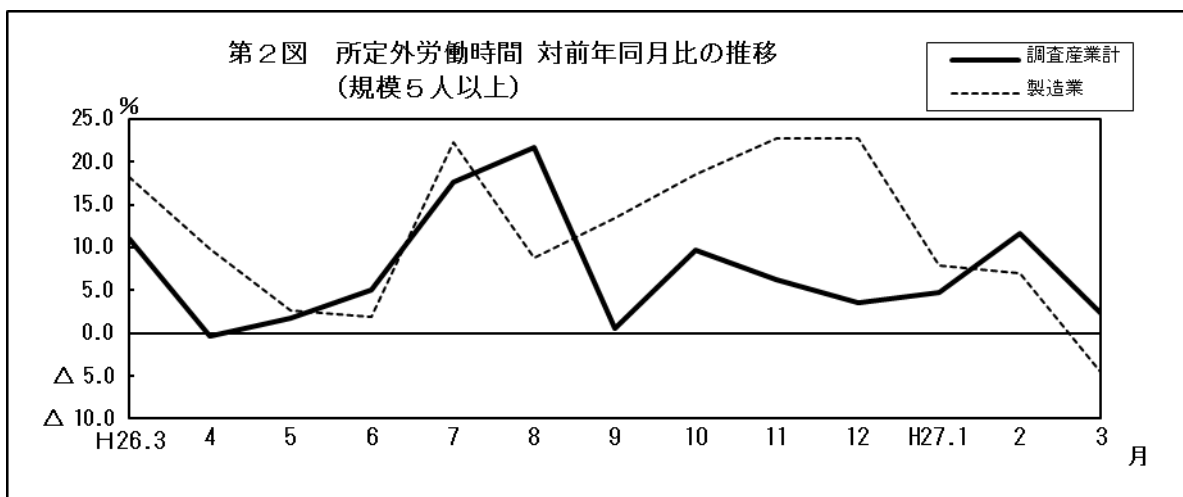
2 労働時間の動き

3月分の調査産業計の月間総実労働時間は、前年同月比3.2%増の140.0時間（規模30人以上では、3.4%増の143.5時間）となった。（第1・2表）

また、所定外労働時間は、前年同月比2.3%増の11.1時間（規模30人以上では、2.3%増の12.3時間）であった。（第2図、第1・2表）

製造業の所定外労働時間は、前年同月比4.5%減の16.9時間（規模30人以上では、4.2%減の18.1時間）であった。（第2図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の総実労働時間は、174.1時間（規模30人以上では、172.1時間）、パートタイム労働者は、88.2時間（規模30人以上では、95.0時間）であった。（表20・21表）



3 雇用の動き

3月分の調査産業計の推計常用労働者数は、規模5人以上で前年同月比0.9%増の2,036,815人（規模30人以上では、1.4%増の1,169,783人）となった。製造業では、前年同月比1.5%減の380,760人（規模30人以上では、2.1%減の268,261人）であった。（第3図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者数は1,231,498人（規模30人以上では、738,129人）、パートタイム労働者数は805,317人（規模30人以上では、431,654人）となり、常用労働者中のパートタイム労働者の比率は、調査産業計で39.5%（規模30人以上では、36.9%）であった。（第1・2・20・21表）

